

交通安全とやま



No.394 令和5年秋冬号 発行者／公益財団法人富山県交通安全協会・交通安全活動推進センター

実技テスト（狭路通行）にチャレンジする選手



第1回シルバードライビングコンテストの開催

一人一人の心に「交通安全」の灯を



小矢部市交通安全協会
会長 野澤 敏夫

【はじめに】

今年六月、小矢部市交通安全協会の会長に就任しました。長く務められた西川前会長の後任として、責任の重さを痛感している毎日です。

交通事故の無いまちづくりをめざして、皆さんと共に、日々、努力してまいりますと考えておりますので、どうぞご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【小矢部市交通安全協会の活動】

小矢部市交通安全協会は、昭和三十三年に設立されて以来、六十五年の歴史を有し、現在は十八の支部がそれぞれに活動を展開すると共に、市協会全体としての活動を協力して推進しているところとです。本会の特徴的な取り組みとして、次のような事業を行っています。

・メルヘンポリス事業

市内の石動西部こども園の年長園児を「メルヘンポリス」として委嘱し、各キャンペーンに参加し、交通安全啓発活動を行っています。メルヘンポリス独自の行事として、市内で最も高い「稲葉山」山頂から、交通安全メッセージの入った風船二百個を飛ばす「世界へ届け交通安全メッセージ発信キャンペーン」や市内商業施設において交通安全コンサートを行っています。

・メルヘン女将による街頭キャンペーン
市内飲食店の女将さんで、組織する「メルヘン女将」と地域活動推進員と共に年三回の街頭キャンペーンを実施しています。

・交通安全ゲートボール大会の開催
小矢部市ゲートボール協会との共催により、ボールを打つ前に交通安全標語を読み上げるゲートボール大会を開催しています。

・交通安全カーブミラー清掃活動
交差点などの視認性向上のため、各担当支部においてカーブミラーの清掃を行っています。

・小矢部市・津幡町との県境合同街頭キャンペーン

小矢部市交通安全対策協議会等と共に県境において両市町の首長、警察署長、交通安全協会会長、各種関係団体が参加し、街頭キャンペーンを行っています。

【交通事故死0人の継続をめざして】

このような様々な活動を通して、小矢部市では今年十月末時点で交通事故死0人を八百六十日間続けています。交通事故は、ほんの小さな不注意で起きることが大半のように思います。経験慣れし過ぎた「思い込み運転」や疲れ持ちでの注意散漫な運転など、気持ちの持ちようや事前の準備によって未然に防げる事故が多いと感じます。

いつ何時でも、一人一人の心の中に交通安全を意識した灯が灯り続けるよう、繰り返し繰り返し、市民ぐるみ様々な取り組みを粘り強く重ねていくことが、最も肝要だと考えています。今後も皆さんのご協力をお願い申し上げます。

第60回富山県交通安全県民大会の開催

279人19団体を表彰

9月4日(月)富山県民会館ホールにおいて富山県交通対策協議会(県・県警察・県教育委員会・県交通安全協会)の主催により「第60回富山県交通安全県民大会」が開催されました。

第1部では、参加者約700人が交通事故犠牲者の冥福を祈り黙とうを捧げ、横田美香副知事による新田八朗知事あいさつ代読後、長年にわたり地域の交通安全活動に貢献した個人279人と19団体が表彰されました。次に来賓の山本徹県議会議長が祝辞を述べ、受賞者を代表して小矢部市交通指導員協議会の中山興一さんが「悲惨な交通事故による被害者一人でも減るよう、より一層の努力を続けたい」と謝辞を述べました。

最後に、県交通安全母の会連合会の花田礼子会長が大会宣言案(横断歩道における交通安全対策の推進、こどもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保、高齢運転者等の安全運転の推進、飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶、自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底)を読み上げ、参加者の賛同を得て採択されました。

また、第2部では、富山県警察音楽隊によるアトラクションがおこなわれ会場を盛り上げました。

受賞者はつぎのとおりです。

富山県部門功労表彰

個人：森清美、三邊哲夫、秋本正孝、竹谷弘之、中山興一

富山県交通対策協議会表彰

個人：梅澤晃、梅本由紀子、五十嵐満春、佐藤俊二、植野重則、道古正子、村上利之、高瀬俊夫、坂本敏、丹羽善雄、白川孝一

中部管区警察局長・中部交通安全協会協議会長表彰

交通安全功労者：中林利夫 他10名

優良運転者：小山吉春 他20名

交通安全功労団体：押し花おおさわの

富山県警察本部長・富山県交通安全協会会長表彰

一般交通安全功労者：栗田ムツ子 他11名

交通安全功労団体：

【**学校の部**】富山市立杉原小学校 他2校

【**一般の部**】松本建設株式会社 他14団体

優良交通指導員・地域交通安全活動推進委員：

西田勝博 他17名

優良運転者：四日秀一 他78名

支部協会功労役職員：中垣宮仁子 他14名



全日本交通安全協会会長表彰(交通栄誉章「緑十字銅章」)

交通安全功労者：木村和子 他29名

優良安全運転管理者：鹿熊丈志 他11名

優良運転者：中信昭 他47名

富山県交通安全協会会長表彰

交通安全功労警察官：山田政和 他16名

第55回交通安全こども自転車全国大会 ～富山県代表福光中部小学校第15位～

8月9日(水)、東京ビックサイト(東京都内)において「第55回交通安全こども自転車全国大会」が開催されました。大会には各都道府県の代表校44チーム(1チーム4人)が出演し、学科と実技(法規、技能)を競いました。県代表として初出場した南砺市立福光中部小学校【杉浦翔月(小6)、波多風太郎(小6)、水口綾七(小6)、森潤南(小6)】は、惜しくも入賞を逃しましたが、団体総合15位と大健闘しました。

～交通安全こども自転車全国大会に出場して～

【**杉浦翔月**】全国大会に出場するのが初めてだったので夜も眠れないくらい緊張していました。結果は44チーム中15位で、目標にしていた10位以内には届かなかったけれど、自分達が出せる精一杯の力で大会に臨むことができましたと思います。今後も周囲の安全に注意して自転車に乗りたいと思います。

【**波多風太郎**】県大会の前には4人の選手に残れるように、県大会では良い成績を残せるように、そして全国大会では今までの努力を出し切れるようにがんばりました。いろいろな人達の助言や応援でとても良い経験ができました。努力は報われるということやみんな協力することを生かして、これからはがんばっていききたいと思います。

【**水口綾七**】大会が始まる前は、とても緊張していました。特に実技が始まる前は、緊張して頭の中が真っ白になりそうでした。でも途中からは失敗もあったけど、うまくできたところもあって少し安心してできました。この自転車大会では、仲間とともにがんばることや努力するというのを学びました。この経験を生かしてこれからの生活や学校行事に取り組みしていきたいと思っています。

【**森潤南**】県大会で優勝してから全国大会までの約1か月間は、それまで以上に練習をがんばりました。大会当日は、特に実技では緊張や不安もあったけど、先生や先に競技を終えた友達からアドバイスをもらうことで、少し安心してペダルをこいで出発できました。ゴールではみんなが拍手で迎えてくれて「本当がんばって良かったな」と思いました。これからは、今回学んだ自転車の安全運転について、周りの人にも広めていきたいと思っています。



南砺市立福光中部小学校チームの選手たち

第1回シルバー

ドライビングコンテストの開催

10月14日(土)県運転教育センターにおいて、高齢者が自動車の安全運転をするための知識と技能を再確認し、習慣付けることにより、自動車事故の防止とマナー向上を図ることを目的に、県警・県交通対策協議会・県老人クラブ連合会の協力を得て「第1回シルバードライビングコンテスト」を開催しました。



コンテストには、14支部交通安全協会から65歳以上の高齢者(1チーム2人、16チーム32人)が参加して学科問題と実技走行に取り組みました。

団体の部はなんとセフティードライバーズ(南砺)、個人の部は森田謙三さん(南砺)が優勝しました。

入賞者は次の皆さんです。

● 団体・優勝 なんとセフティードライバーズ(南砺) ② 余川(水見) ③ 上市(上市)

● 個人・優勝 森田謙三(南砺) ② 新谷孝司(水見) ③ 西田勝博(上市) ④ 五十嵐満春(富山中央) ⑤ 塚本直正(富山) ⑥ 川端徹(高岡) ⑦ 永澤一比己(立山) ⑧ 正所久明(砺波)

● 敢闘賞 浅井明(富山南)

地域交通安全活動推進委員

ブロッコ研修会の開催

10月4日(水)より10月25日(水)までの間、県内4会場(富山・高岡・魚津・砺波)において、県内各地で活動する地域交通安全活動推進委員128名が出席し、ブロッコ研修会を開催しました。



研修会では、県内の最近の交通事故情勢、推進委員の心構えや活動要領及び、最近の道路交通法の改正点(自転車のヘルメット着用義務化など)の内容について詳細に説明し、引き続き地域の交通安全リーダーとして「交通事故ゼロ」を目指し活躍していただくことを願いました。

自転車安全教育指導員講習会の開催

11月2日(木)県運転教育センターにおいて、県自転車安全教育推進委員会の主催による「自転車安全教育指導員講習会」を開催しました。

講習会には県下から応募のあった新規の指導員を含む19名が参加し、各地域で行われる自転車教室等で指導する際の要領や注意点を習得しました。

参加者からは、

「車両の点検整備ポイントや緑色TSマークの付帯保険の説明などが大変参考になり、今後指導する際に生かして行きたい」との声が聞かれました。



「止まってくれてありがとう運動」推進中

交通安全協会と富山エフエム放送(株)では、今年も県内事業所等の協賛を得て6月26日から8月27日までの2か月間にわたりラジオCMで信号機のない横断歩道での一時停止(歩行者優先)を県民に呼びかけました。

ラジオCM放送期間中などにJAF(一社)日本自動車連盟)が実施した全国調査(8月9日(水)～9月20日(水)の間)によると、「信号機のない横断歩道」における富山県の一時停止率は、昨年より13.0%上昇し50.0%、順位は5位上昇し20位と過去最高の結果になりました。富山県の一時停止率は年を追うごとに改善され、平成30年と比べて45.2%も上昇するなど、目に見えて成果が出ているものの、まだ半分の車両が一時停止しない状況です。ドライバーの意識が向上し「一時停止」する車両が増え、信号機のない横断歩道上での交通事故が1件でも少なくなるようにご協力お願いします。

ドライバーの皆さん

信号のない横断歩道での歩行者優先は、交通マナーではなく交通ルールです。歩行者がいる場合には停止し、通行を妨げないようにしてください。

歩行者の皆さん

ハンドサインで運転者に横断歩道を渡る意思を伝えてください。また止まってくれた運転者に対して「ありがとう」の気持ちを伝えて渡りましょう。

北陸三県統一 年末の交通安全県民運動の実施

年末は降雪・凍結等により道路環境が悪化する中で、気ぜわしさもあいまつて、交通事故が多発する傾向にあります。また、飲酒の機会も増えることから、交通ルールの遵守とマナー向上を呼び掛けることにより、県民の交通安全意識を高め、交通事故防止を図ることを目的として年末の交通安全県民運動が今年も実施されます。



期間

令和5年12月11日(月)～12月20日(水)

スローガン

ゆっくり走ろう 雪のふる里 北陸路

運動重点

- 1 高齢者の交通事故防止 (北陸三県統一重点)
- 2 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- 3 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶
- 4 自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

活動重点日

- ・ 12月11日(月) 夕暮れ時と夜間の交通事故防止の日
- ・ 12月12日(火) 横断歩道おもいやりの日
- ・ 12月14日(木) 高齢者交通安全呼び掛けの日
- ・ 12月15日(金) 飲酒運転根絶の日
- ・ 12月18日(月) シートベルト・チャイルドシート着用徹底の日



各地区の交通安全活動状況

～富山の交通安全を一緒に守りませんか？～

ここで紹介している活動は皆様方からいただいた協力金・賛助金で行っています。交通事故のない安心安全な地域をつくるため、これからもご協力をお願いします。



各地区の交通安全活動はこちらからもご覧いただけます。

◆高岡交通安全協会◆



高岡支部第一ブロック7支部から代表各2名が参加して、高齢者シルバードライビングコンテストを開催しました。優勝、準優勝チームが10月の県大会に代表として出場しました。

◆立山町交通安全協会◆



利田公民館において、地域の高齢者を対象に交通安全教室を開催しました。腹話術を使った講話や替え歌体操等、リラックスした雰囲気の中で交通安全意識の向上を図りました。

◆黒東交通安全協会◆



「チューリップで注意アップ」と題し、保育園児と一緒にチューリップの球根とチラシをドライバーに配布し、歩行者や夜間の運転に注意するよう呼び掛けました。

◆氷見市交通安全協会◆



海峰小学校口交差点付近において、阿尾保育園児20名と一緒に、園児の手作りマスコットと啓発チラシを配布して、全席シートベルト・チャイルドシート着用を呼び掛けました。

◆富山中央交通安全協会◆



運転教育センターにおいて「心を米(込め)た安全運転、今日も明日も2合(にっこり)帰宅」の合言葉の下、新米2合とチラシを配布し無事故無違反を呼び掛けました。

◆黒部市交通安全協会◆



高齢者交通安全呼び掛けの日に、14歳の挑戦中の中学生と一緒に猫の反射材「止まってくれにゃん！手をあげてくれにゃん！」とチラシを配布し横断歩道の一時停止を呼び掛けました。

◆砺波市交通安全協会◆



砺波市特産の玉ねぎをもじり、「たしかに締めようまず締めようねまったら締めようぎゅつと締めよう」を合言葉に全席シートベルト・チャイルドシートの着用を呼び掛けました。

◆富山南交通安全協会◆



道の駅細入において、飛騨警察署との合同キャンペーンを行いました。両警察署のマスコットキャラクターも参加しチラシや反射材を配布して交通事故防止を呼び掛けました。

◆魚津市交通センター◆



松倉支部が観音寺地内を通行するドライバーに、BOXティッシュやチラシ等を配布しながら、飲酒運転の根絶やシートベルト着用等を呼び掛けました。

◆南砺市交通安全協会◆



地域の高齢者グループより依頼を受け、交通安全出前講座を行いました。参加者は、カルタを使ってルールの確認や反射スコップを覗いて反射タスキの効果を体験しました。

◆富山西交通安全協会◆



呉羽山公園駐車場において、北日本自動車学校と協力して交通安全啓発チラシと事故ゼロをもじったゼロカロリー飲料を配布し、交通安全を呼び掛けました。

◆滑川市交通安全協会◆



市内の小学1年生児童が交通安全の願いを込めて家族に宛ててメッセージを書いた「交通安全きらりんはがき」を特設ポストに投函しました。

◆小矢部市交通安全協会◆



石動西部こども園年長園児で組織するメルヘンポリスたちが、交通安全の願いを書いたメッセージカードを風船に付けて稲葉山から大空高く飛ばしました。

◆射水交通安全協会◆



いみず市民交流プラザ及び周辺道路において、高齢者の交通安全意識の向上と交通ルールの確認と実践を図るため、高齢者交通安全ウォークラリー大会を開催しました。

◆上市区域交通安全協会◆



大岩山日石寺の六本滝において、滝行による交通安全祈願祭を行いました。参加した協会員等は身の引き締まる思いの中、地域住民の交通安全を祈りました。